

3. 適応計画に基づく取組について

気候変動適応情報プラットフォーム

- 気候リスク情報を集約し、各主体の適応の取組を支える情報基盤。
- 2016年8月に、関係府省庁が連携して構築。国立環境研究所が事務局として科学的にサポート。
- 2020年までに、アジア太平洋地域に拡大し、アジア太平洋適応情報プラットフォームを構築する。

(主な機能)

- ①情報基盤整備 : 気候変動や影響予測に関する科学的データの提供
- ②支援ツール : 簡易モデル、リスクマップ、優良事例等による適応支援
- ③人材育成 : 関係者との協働でのデータセット開発、専門家派遣等



「気候変動適応情報プラットフォーム」 ポータルサイトの主なコンテンツ



全国・都道府県情報 ~適応策を検討する上で役立つデータを都道府県別に掲載~



政府の取組

- * 政府の適応計画
- * 研究調査結果の紹介



地方公共団体の適応

- * 適応計画策定ガイドライン
- * 気候変動影響関連文献一覧
- * 地方公共団体会員専用ページ



事業者の適応

「気候リスク管理」と「適応ビジネス」に取り組む事業者の取り組み事例を紹介します。



個人の適応

変化する気候に適応するための知恵と工夫を紹介します。

気候変動に適応して快適な生活を送りましょう!!

<http://www.adaptation-platform.nies.go.jp/index.html>



CLIMATE CHANGE ADAPTATION PLATFORM

全国・都道府県情報

都道府県別の気候と気候変動による影響の予測

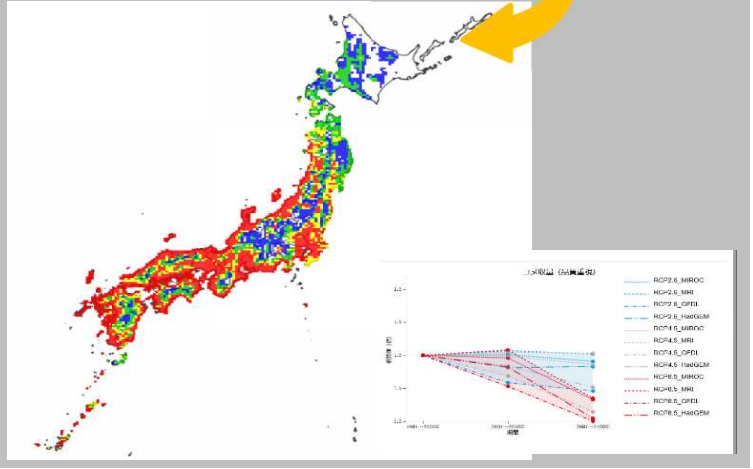
全国情報

クリック!!

クリック!!

コマを選択!!

コメ収量（品質重視）予測



表示地域: 東京

気候・影響に関するマップやグラフ、適応に関する施策情報をご提供

複数の地図データを並べることで 地域における気候変動の影響予測結果を多角的に分析することが可能です

マップ グラフ 適応に関する計画と情報

表示項目 説明

- 1. 分野: 自然生態系
- 2. 気候・影響指標: アカガシ潜在生育域
- 3. 気候モデル: MIROC5
- 4. 排出シナリオ: RCP 2.6
- 5. 対象期間: 21世紀末
- 6. 透過度: 20 %

格子間隔 = 1 km

地図情報表示 説明

- 1. 参照情報: 色別標高図
- 2. 透過度: 20 %
- 3. 背景地図: 白地図
- 4. 都道府県抽出: はい (表示) 非表示 (非表示)

備考

アカガシ潜在生育域面積の将来変化予測

●影響評価手法

気候要因を含む環境要因から統計的に予測するモデル（分布予測モデル）を用いて潜在生育域を評価。

※利用する気候パラメータ：暖かさの指数、最

Legend: 潜在生育域 (Green), 非生育域 (Grey)



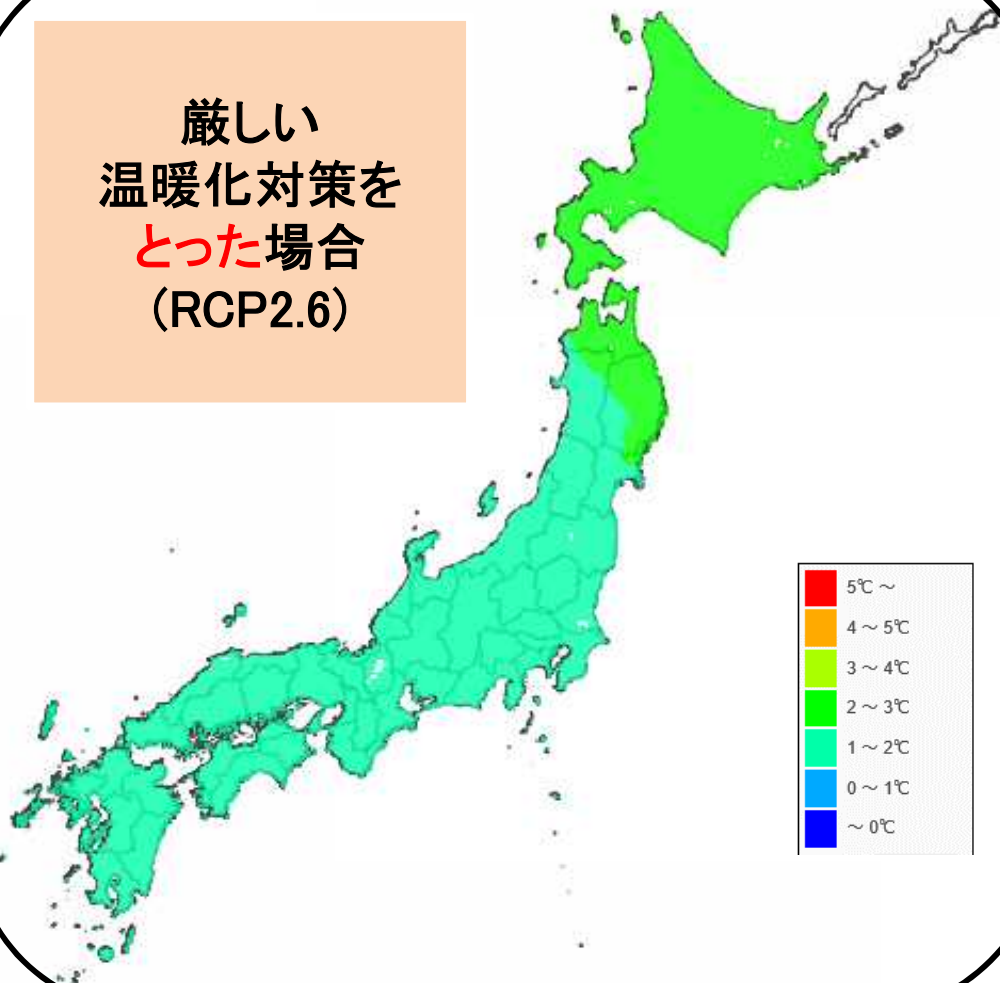


○気候変動予測結果

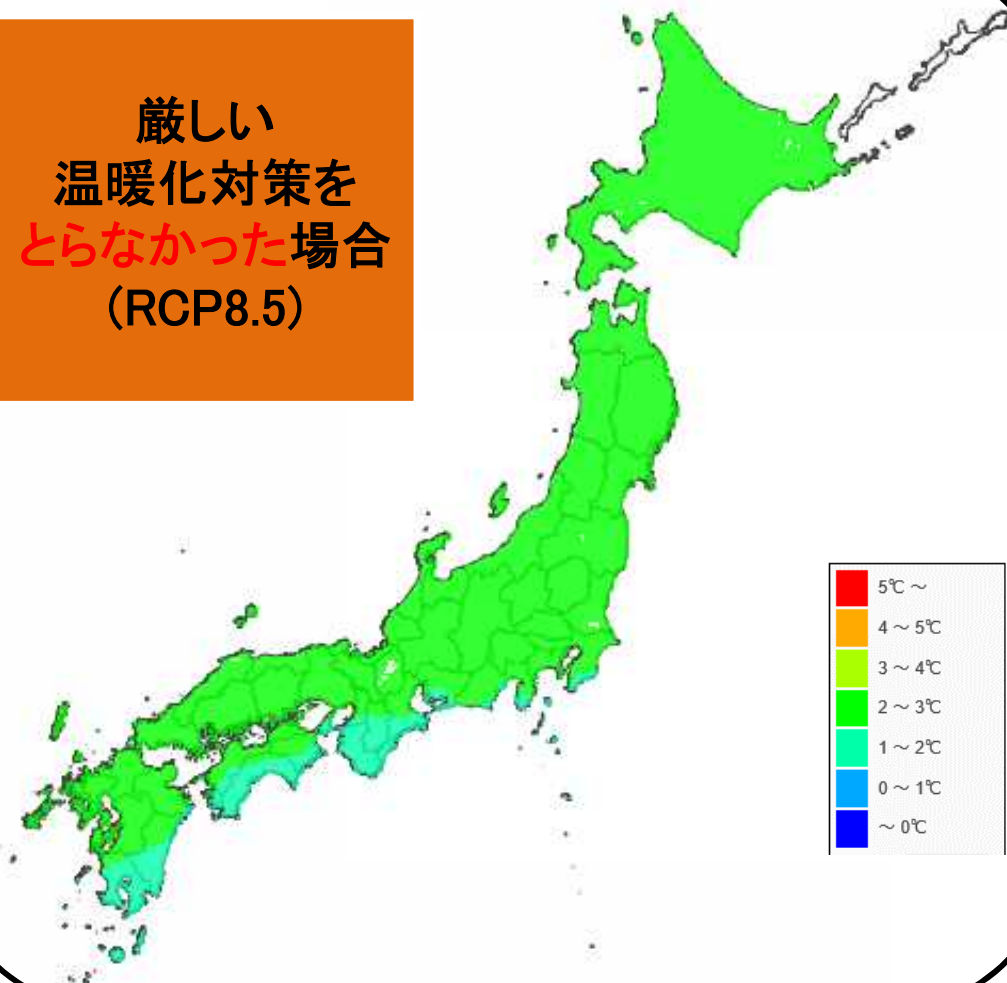
分野: 年平均気温

対象期間: 21世紀半ば(2031年~2050年)

厳しい
温暖化対策を
とった場合
(RCP2.6)



厳しい
温暖化対策を
とらなかった場合
(RCP8.5)



○気候モデル: MIROC5

○格子間隔: 1km

○1981~2000年を基準期間とした場合の相対値

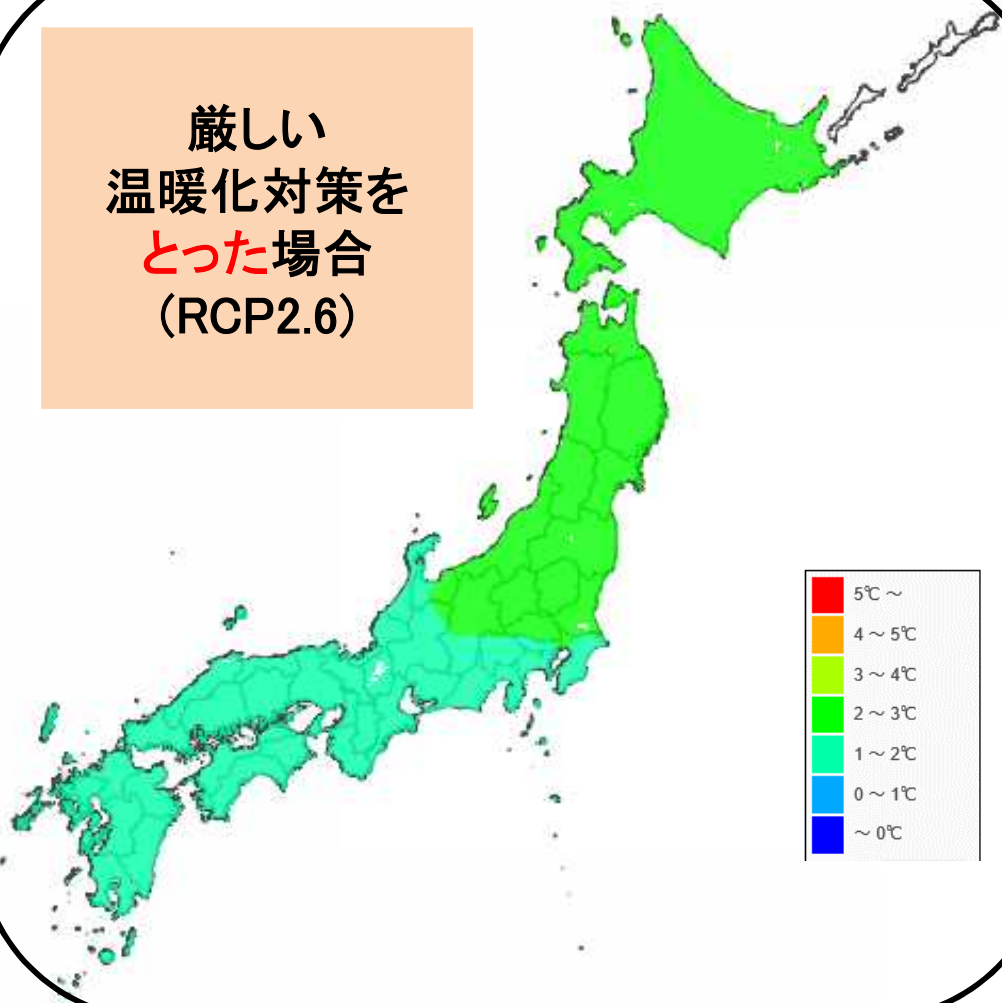


○気候変動予測結果

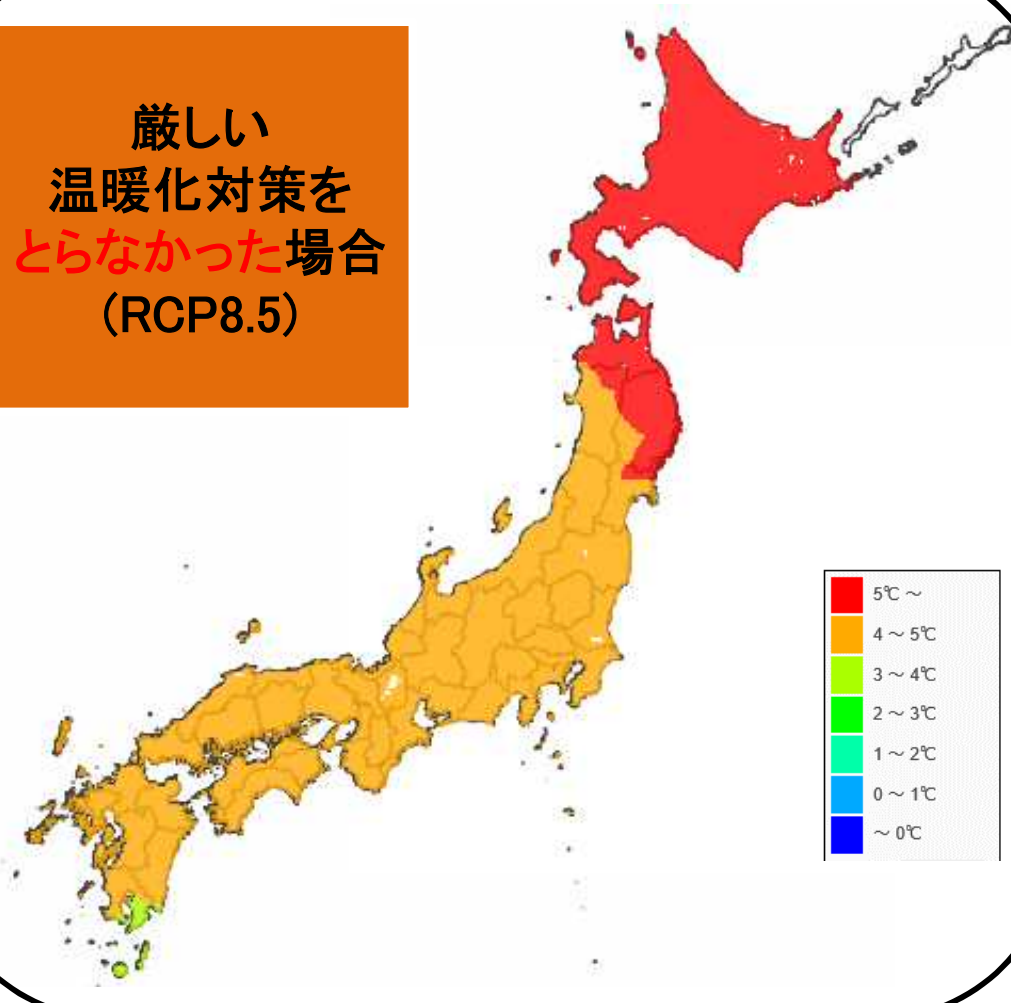
分野: 年平均気温

対象期間: 21世紀末(2081年~2100年)

厳しい
温暖化対策を
とった場合
(RCP2.6)



厳しい
温暖化対策を
とらなかった場合
(RCP8.5)



○気候モデル: MIROC5

○格子間隔: 1km

○1981~2000年を基準期間とした場合の相対値

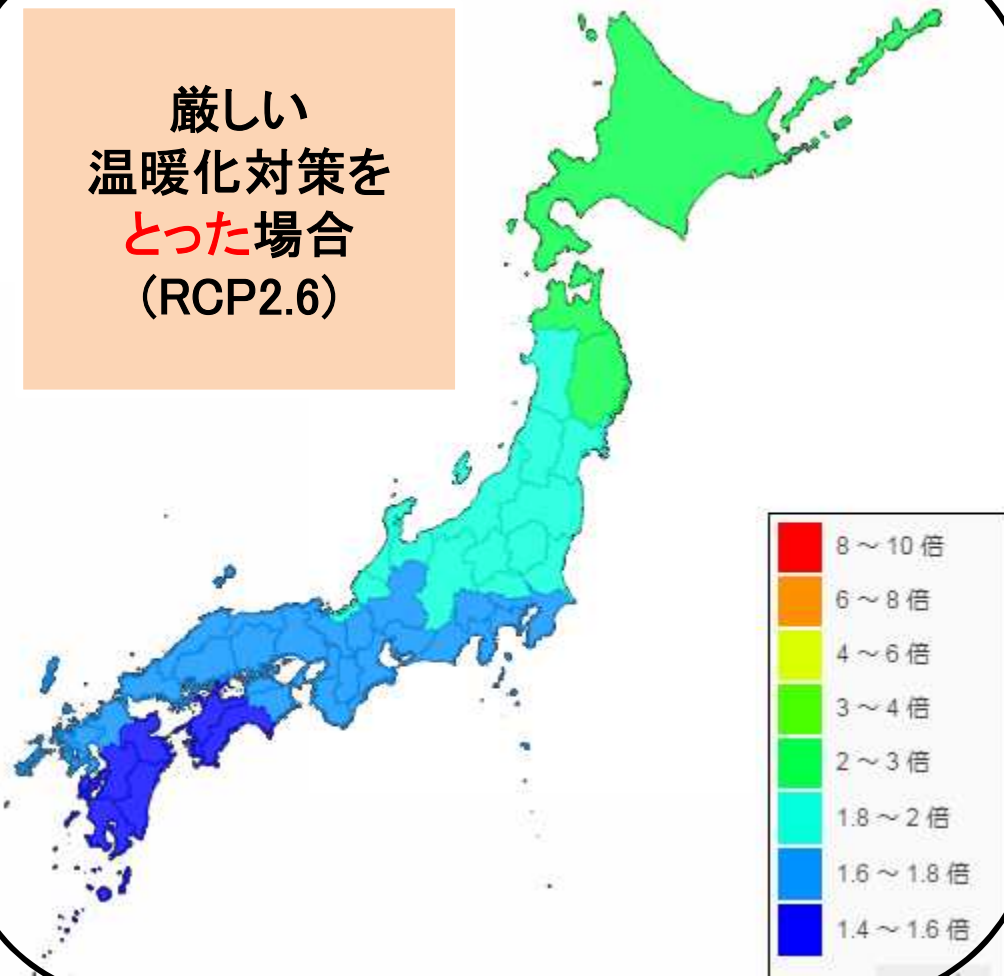


○気候影響予測結果

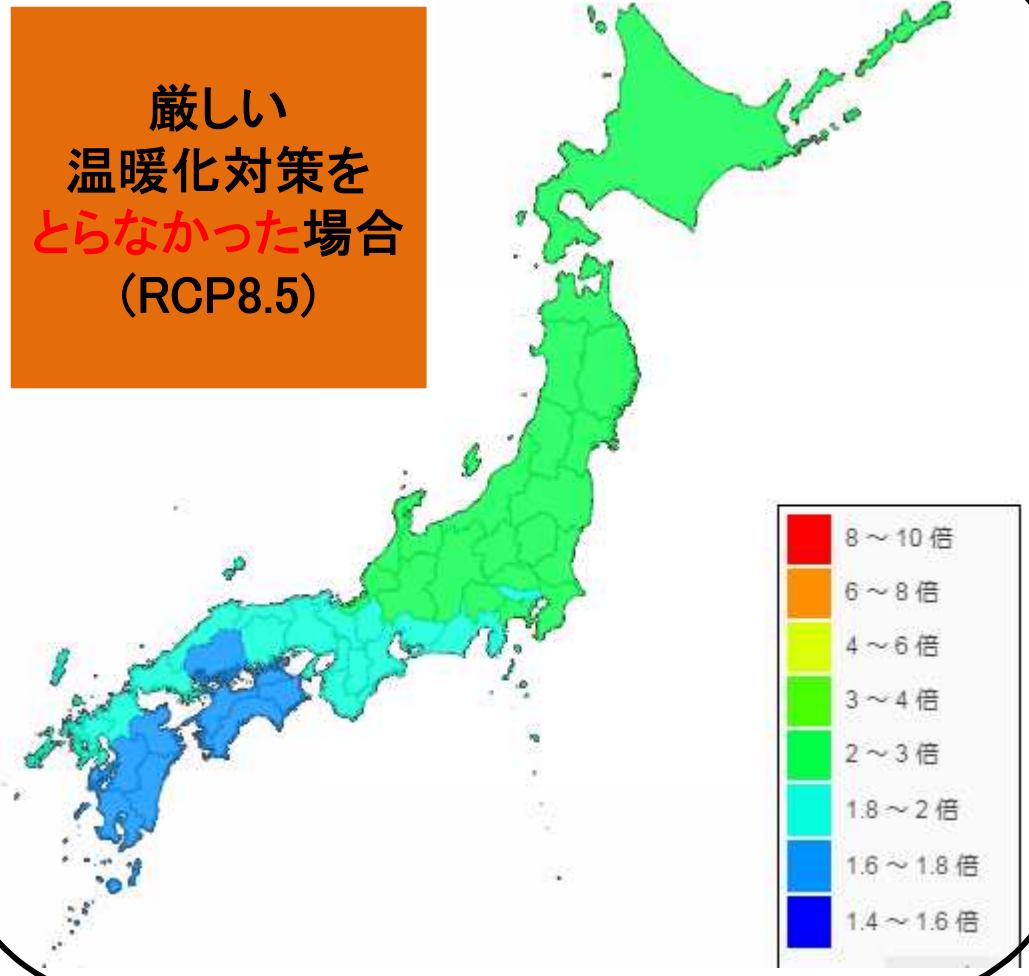
分野: 熱中症搬送者数

対象期間: 21世紀半ば(2031年~2050年)

厳しい
温暖化対策を
とった場合
(RCP2.6)



厳しい
温暖化対策を
とらなかった場合
(RCP8.5)



○気候モデル: MIROC5

○格子間隔: 都道府県

○基準期間(1981~2000年)の熱中症搬送者数を“1”とした場合の相対値

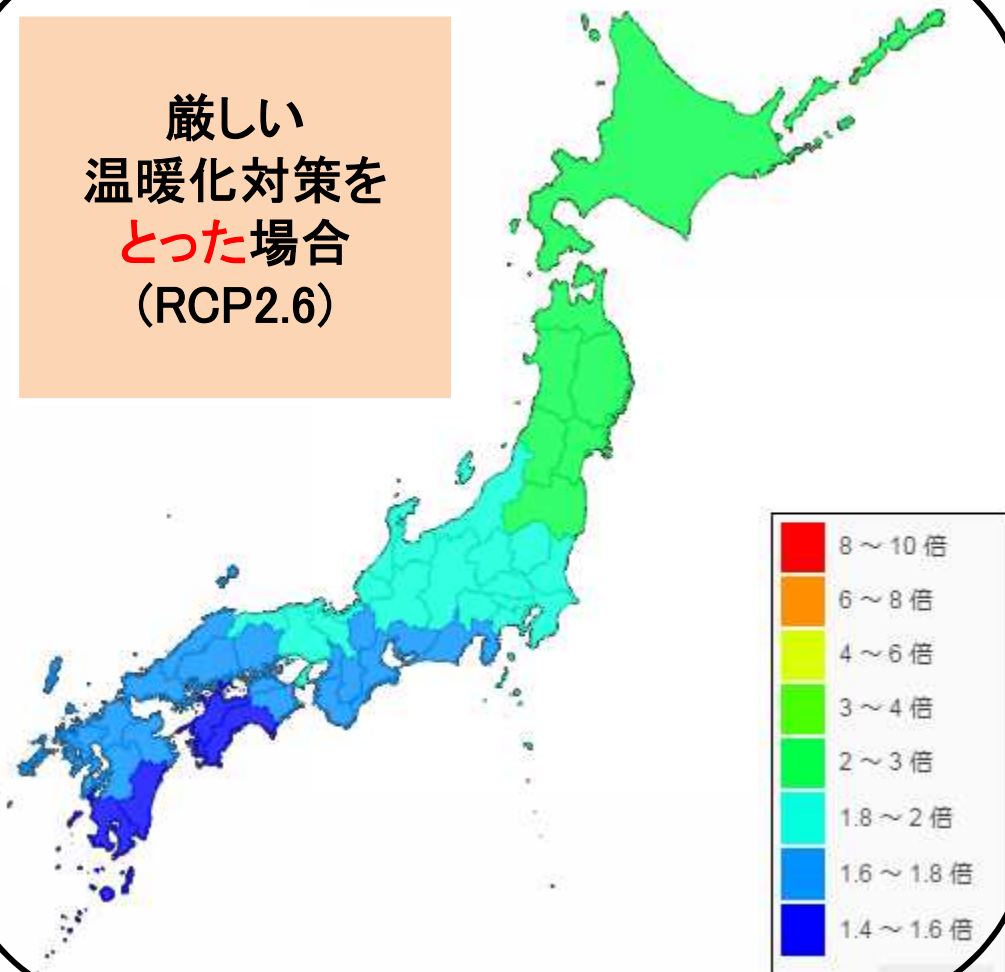


○気候影響予測結果

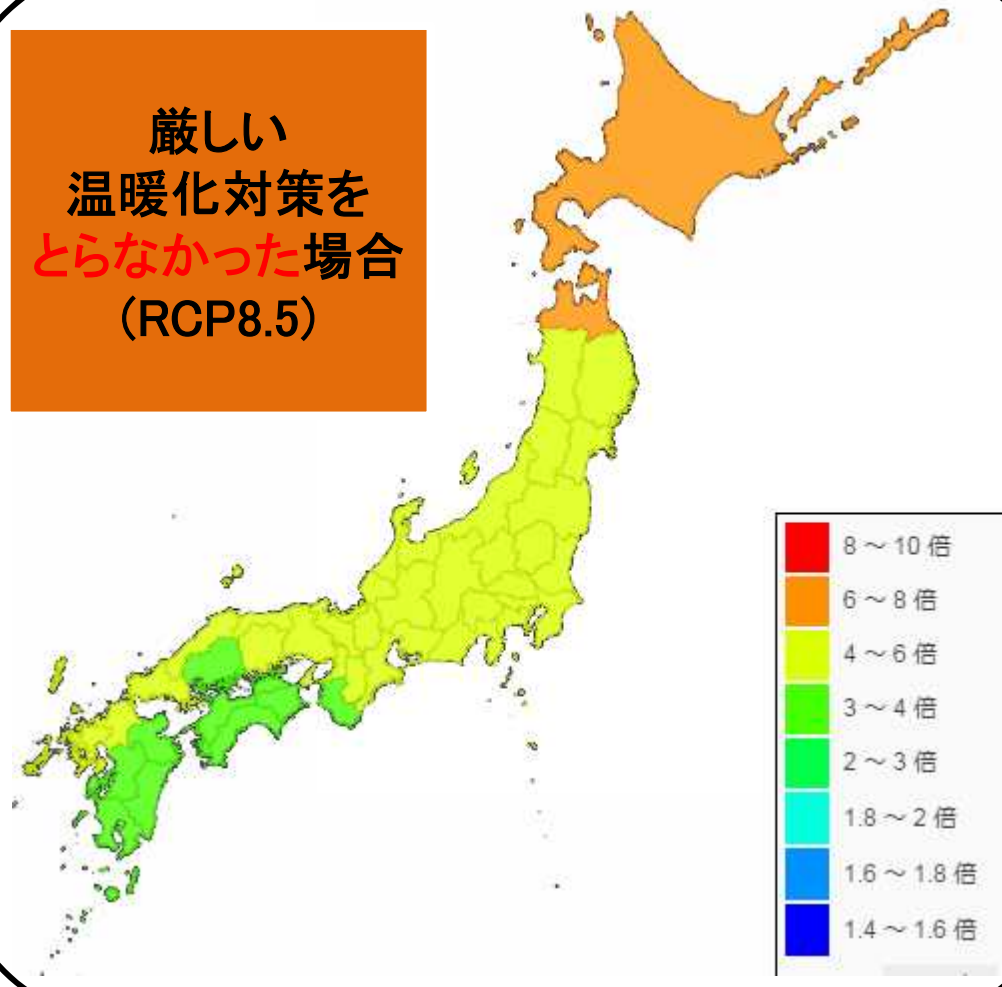
分野: 熱中症搬送者数

対象期間: 21世紀末(2081年~2100年)

厳しい
温暖化対策を
とった場合
(RCP2.6)



厳しい
温暖化対策を
とらなかった場合
(RCP8.5)



○気候モデル: MIROC5

○格子間隔: 都道府県

○基準期間(1981~2000年)の熱中症搬送者数を“1”とした場合の相対値